

当時の
外交課題

- ① 欧米列強と結んだ₁ 不平等条約
 <例>欧米に領事裁判権、協定関税制、片務的最恵国待遇など
- ② 東アジアの旧来の国際秩序との「衝突」
 ……₂ **冊封** 体制…中国が周辺国と形式的な主従関係を結ぶこと ≠ 植民地
 <例>₃ **朝鮮** 問題…日本からの外交文書の受取を拒否(1868) → 征韓論へ
 …… 清の冊封国 鎖国攘夷政策
- ③ ₄ **琉球** ・・・ ₅ **樺太** の帰属問題 ……国境の確定
 {
₆ 琉球…江戸時代、清の冊封を受けながら日本(薩摩藩)の支配も受けていた
₇ 樺太…₈ 日露和親条約(1854)で日露雑居地とされたがロシア側が優勢だった

遣欧使節と征韓論争

₉ **岩倉遣欧使節**の派遣 (₁₀1871~73)

……₁₁ **岩倉具視**[公卿]、₁₂ **大久保利通**[薩摩]、₁₃ **木戸孝允**[長州]、₁₄ **伊藤博文**[長州]ら渡欧

目的 {
 ・ ₁₅ 不平等条約の改正の予備交渉→失敗 ※「条約は結びそこない金は捨て 世間に対し何といわくら」
 ・ 欧米の政治・産業状況の視察

※多くの留学生が同行 <例>中江兆民、₁₆ **津田梅子**(5人の女子留学生の一人)

₁₇ 留守政府がその間にさまざまな改革を実行 <例>徴兵令、地租改正、学制など

→社会不安の増大…改革に反対する農民一揆、不平士族の反発

→₁₈ **征韓論** ……朝鮮問題を利用して国内の不満を外へ向けさせる 西郷を朝鮮に派遣

……▶ 帰国→₁₉ 内治優先論を主張して留守政府と対立 **内治派** ⇔ ₂₀ 征韓論争 ⇔ **征韓派**

₂₁ 1873. 留守政府の主要メンバーが辞職(下野)する…₂₂ 明治6年の政変

₂₃ **西郷隆盛**[薩摩]、₂₄ **板垣退助**[土佐]、₂₅ **後藤象二郎**[土]、₂₆ **江藤新平**[肥前]、₂₇ **副島種臣**[肥]

周辺国との関係と国境の確定

A. 清と琉球(沖縄)

29 1871. 30 **日清修好条規** 【全権】 31 **伊達宗城** [日本]・**李鴻章** [清]

32 最初の対等条約…領土の保全、相互援助、両国の開港、相互に領事裁判権
日本国内に不満 → 以後、方針転換

33 琉球漁民殺害事件…台湾へ漂着した琉球民(宮古島)を台湾先住民が殺害

日本抗議(副島を派遣)→清は拒否

1872. 34 **琉球藩** 設置…国王 35 **尚泰** が 36 **藩王** に(華族に列する)

36 1874. 37 **台湾出兵** (38 征台の役)…**西郷従道** (隆盛の弟) 中心に強行 40 木戸は抗議して下野

英米は戦争に反対 → 協定(1874. 日清互換條款) 成立 【全権】 大久保利通

イギリス公使ウェードの調停 撤兵と50万^{テール}両の賠償金など

41 1879. 42 **沖縄県** 設置を強行←軍隊・警察を派遣

→清抗議 → 米前大統領グラントの調停 → まとまらず → 日清戦争(1894-95)で決着

43 **先島諸島**(宮古・八重山)を分離して清に割譲する代わりに

日清修好条規を改正して日本に最恵国待遇を与える

☆一連の琉球(沖縄)への政策を 44 **琉球処分** という。

B. 日露国境 …樺太雑居問題

45 1875. 46 **千島樺太交換条約** 【全権】 47 **榎本武揚**

48 千島は日本領、樺太はロシア領 → 政府は北海道開拓に専念

C. 対朝鮮政策 …内治派も征韓派も根本は同じ

49 1875. 50 **江華島** 事件…日本軍艦 雲揚号が領海侵入など挑発行動→砲撃を受けると反撃

→ 51 **日朝修好条規** (52 江華条約: 1876) 【全権】 53 **黒田清隆**

(a) 朝鮮は「自主の国」…清による冊封を否定 ※徹底できず→日清戦争で決着

(b) 開港… 54 **釜山**、**仁川**、**元山**

(c) 日本に 55 領事裁判権と 56 無関税特権 … 57 **不平等条約**

D. 58 **小笠原諸島**

1876. 領有を宣言→英米の承認